



令和7年(2025年)
10月発行

陽だまり



会長あいさつ

広島県在宅保健福祉活動者の会

会長 村上 美恵子



令和7年度総会は国保連合会の守田常務理事様よりご祝辞を賜り、通常通り開催する事ができました。今年度は昨年度総会時に要望があった当会の会計報告について事業報告と共に上程し、原案のとおり決定されました。また、今年度の事業計画には新たに事業方針を加えて上程し、原案のとおり決定されました。今年度事業方針の重点項目は『新規会員の加入促進』です。今後、理事会等で協議しますが、会員の皆様方からもご意見いただけると幸いです。総会后、保健事業課大下事業第一係長様から「広島県国保連合会の保健事業について」情報提供いただきました。当会へのお願いとして「会員皆様や家族の健康を大切に↓地域活動を通じての保険者への支援」のお話に地域での活動推進に力をいただきました。

午後の研修会は高齢社会をよくする女性の会・広島代表/臨床社会学者 春日 キスヨ先生から「超長寿時代の生き方・暮らし方―親世代・子世代に求められる力と覚悟」について講演いただきました。長寿期の在宅夫婦の暮らしのリスク等家族との関りについてのお話は日々の家族との暮らしについて見直しするきっかけを与えてくださいました。

ここからは広島市東区牛田東三丁目集会所で行われている「いきいきサロンさわやか」についてお伝えします。現在は理事、地区活動推進専門部会員を中心に手探り状態で関わらせていただいています。地域の交流の場となるよう運営者の皆様のこまやかな心づかい（各テーブルに季節の草花が活けられ、茶菓の準備が整い）と参加者の皆様への笑顔の声掛けに私たちも癒されています。私たち三職種健康教室では血圧の話、お口の話、熱中症の話、熱中症予防の食事や水分の話…と季節のテーマのお話に歌、しりと、り、などなど交えてほっこり進めています。専門職数名での関りは参加者の皆様の反応をじっくり見ることができ、個別の支援に適切に応じることが出来るのではと感じています。地域サロンの運営等に興味のある方は一緒に三職種での交流を深めてみませんか。研修会とは一味違った学びがあります。多くの皆様の参加をお待ちしています。

令和7年度総会の報告

・議決事項

第1号議案
第2号議案

令和6年度事業報告の認定について
令和7年度事業計画の認定について



主 な 事 業	開 催 時 期	内 容
第1回研修会	令和7年 6月11日(水)	講演「超長寿時代の生き方・暮らし方 ―親世代・子世代に求められる力と覚悟―」 講師 高齢社会をよくする女性の会・広島 代表/臨床社会学者 春日 キスヨ 氏
第1回地区活動推進 専門部会研修会	令和7年10月1日(水) 11月5日(水) 令和8年 3月4日(水)	東区いきいきサロンさわやかにおける実地研修
第2回地区活動推進 専門部会研修会	令和7年10月22日(水)	午前の部 サロンにおけるレクリエーションや健康教育に 関する事例報告等 午後の部 講演「フレイル予防について(仮)」 講師 東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長 未来ビジョン研究センター教授 飯島 勝矢 氏
第2回研修会(福山市)	令和8年 2月頃	「調整中」

今年度の事業計画を承認

～地域の保健福祉活動の充実を目指して～

令和 7 年度広島県在宅保健福祉活動者の会
総会・第 1 回研修会
6 月 11 日 (水)

開会にあたり、本会の村上美恵子会長が「昨年度は当会発足 20 周年を迎え、記念事業等を開催することができました。今年度は事業計画に事業方針と重点項目を上程しています。この重点項目の『新規会員の加入促進』のために、地域で住民の方はもちろん、専門職に対して私達の活動について情報発信をすることも一つだと思っています。新規会員の加入促進はどうしたらいいのか、この一年かけて役員会で話しますので、皆さんからご意見いただけたらと思います。」とあいさつをされました。

続いて、連合会の守田常務理事から「現役世代が減少する中で、高齢化率がさらに高まっており、高齢者自身による健康状態の維持、自立した生活を地域で支えていくことが、ますます重要になってまいります。こうした中では、各地域における専門職としてのマンパワーは非常に貴重な存在であり、在宅保健福祉活動者の会の皆様方のさらなる活躍が大いに期待されるところでございます。」と祝辞をいただきました。

総会では令和 6 年度事業報告、令和 7 年度事業計画についての説明を行い、すべて原案通りに可決されました。

その後、連合会の大下朋広保健事業課事業第一係長から「広島県国保連合会の保健事業について」情報提供がありました。

超長寿時代の生き方・暮らし方
―親世代・子世代に求められる力と覚悟―

講師 高齢社会をよくする女性の会・広島
代表／臨床社会学者 春日キスヨ 氏

春日氏は、高齢者の長寿化とともに、社会規範や家族関係の変化、ケアの担い手不足について説明されました。また、長寿化により夫婦や夫婦と子どもの家庭モデルも変化し、一人暮らしだけではなく、夫婦だけで在宅生活をされている場合に課題を抱えているケースがあることを指摘されました。さらに、高齢者自身も、必要なケアや支援の準備が十分にできていないことにより、倒れたときの対応や社会資源の活用に不安を抱くケースが多くなっていることを説明されました。

その上で、今後の社会では支援者やキーパーソンの役割の重要性が増すこと、高齢者自身や家族のために備えることの必要性を述べられました。また、健康寿命を延ばす支援はありますが、倒れた後の啓発を担う部署がどこにもないことについて指摘をされました。

最後に参加者に対して、「長生きするということとは様々な社会資源に繋いでくれるキーパーソンが必要になる」と支援の現場で高齢者に伝えていくてほしいと締めくくられました。



春日氏

参加者の声

講演

「超長寿時代の生き方・暮らし方
―親世代・子世代に求められる力と覚悟―」

研修会に参加して

広島市会員 安田 潤子

超高齢化社会に突入し、人生百年時代と言われる現在、健康長寿を目指し、日々「健康づくり」に取り組んでいる高齢者が私だけではなく、まわりには多数いらっしゃいます。

長寿期を在宅で暮らす多くの高齢者やその家族・支援者への聞き取りからの統計データを基に浮かび上がった「超高齢在宅暮らし」の困難な現状や家族と介護の問題を知り、厳しい実状であると認識することができました。

また、長寿化が進み、夫婦元気で安心と思いきやひとり暮らしより、支援の目が届かない高齢夫婦二人暮らしに様々なリスクが潜んでいることに着目されました。

八十五歳越えの「ヨロヨロ期」になってからも長く続く日常生活のリアルな生活実態に決して他人事ではないと考え、安心して暮らすための知識を備えたいと思います。長寿期には寄り添ってくれる「キーパーソン」の役割と必要性も参考になりました。

超長寿時代の生き方・暮らし方について多くを学ぶことができました。



広島市東区「いきいきサロンさわやか」活動報告

令和 7 年 4 月 2 日（水）、6 月 4 日（水）、7 月 2 日（水）に広島市東区「いきいきサロンさわやか」へ専門職を派遣し、健康教育を実施しました。派遣された 3 職種がそれぞれの専門性を発揮した講義やレクリエーションを実施することで、陽だまりの会の強みを活かした活動ができました。

開催日	テーマ
4 月 2 日（水）	血圧について
6 月 4 日（水）	お口の健康について
7 月 2 日（水）	脱水症予防、熱中症予防



- ・次回も参加したい、知人を誘ってみます等の声があった。
- ・入れ歯について、話を聞くことがないので参考になったという声があった。
- ・楽しく参加されていた。
- ・手作りした経口補水液を試飲したところ、飲みやすいという感想があった。
- ・講義の終了後に血圧測定や健康相談をされる方もいた。
- ・身近なテーマであり、真剣に聞いていただけた。



広島県在宅保健福祉活動者の会会員調査結果

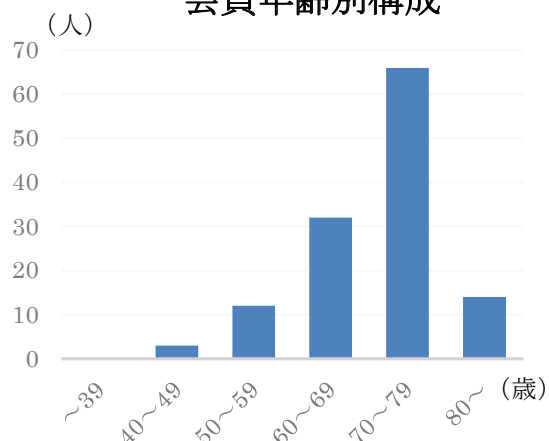


調査期間 令和 7 年 3 月 26 日～令和 7 年 4 月 30 日 調査方法 アンケート用紙配布
調査人数 128 人 回答者数 127 人 回答率 99.2%

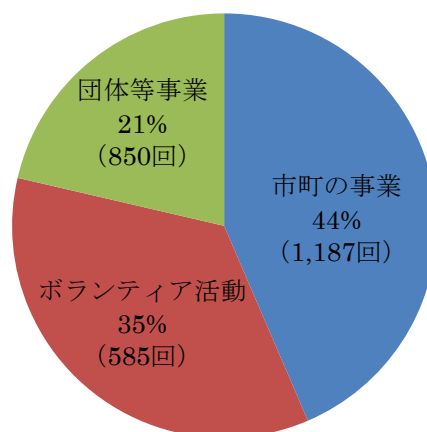
会員調査の結果、127 人の会員から回答がありました。

- ・会員は 70 歳代が最も多く、次いで 60 歳代、80 歳以上となっています。平均年齢は 70.3 歳です。
- ・年間の活動状況は、127 人中 103 人と、81.1%の会員が地域の保健活動に携わっています。
- ・活動の内訳は、市町の事業が 44%と最も多く、次にボランティア活動が 35%となっています。
- ・市町の事業では「訪問事業」、団体等事業では「サロン」が最も多いです。
- ・ボランティア活動は「高齢者対象」が最も多く、小児対象の約 3 倍となっています。
- ・内容が小児対象では「子育て支援」、高齢者対象では「サロン」、「介護予防」、「認知症予防」、一般対象では、「食事指導」と「特定健診」に関わっている会員が多いです。

会員年齢別構成



年間活動実施回数





ひろしまナイチンゲール賞受賞おめでとうございます！



今回、これらの活動を評価していただいた事は、この上ない喜びであると同時に、共に活動してきた仲間への荣誉と感謝でいっぱいです。今後も、この受賞を励みに、モットーである「笑顔で楽しく」を胸に刻みながら、一層の研鑽を重ね精進して参ります。今後ともご指導をいただきますよう、宜しくお願いいたします。

私は、三十二年間、行政の保健師として、福山市民の健康づくりに携わり、誰もが「生き活きとした生活」が送れるよう、保健・福祉行政に取組んで参りました。退職後「在宅保健福祉活動者の会」へ加入し、三職種の連携の素晴らしさに触れ、自らの活動が更に拡がりました。同時に、これまでの経験を生かし、地域への恩返しの一環として、「遊びのサロン」での子育て支援、音楽を通じた高齢者の健康づくり、また「福山地区更生保護女性会」へ所属し、犯罪や非行のない社会を目指す等のボランティア活動に取組んでおります。



「ひろしまナイチンゲール賞を受賞して」

福山市 保健師 西本 千恵美

令和 7 年 5 月 16 日、広島県庁において、ひろしまナイチンゲール賞を受賞しました。

身に余る荣誉に、何故私が…と自問自答しましたが、広島県国保連合会、在宅保健福祉活動者の会の推薦・ご尽力を賜り、このような荣誉ある賞を受ける事に感謝し、受賞の重みをかみしめております。

この度、第 30 回ひろしまナイチンゲール賞を、本会の会員で保健師の西本千恵美さんが、これまでの活動の功績が認められ受賞されました。西本さんは、長年行政保健師として母子保健の推進や住民の健康増進に取り組み続けてきました。退職後は、平成 28 年 6 月から令和 6 年 6 月まで本会の理事を務められ積極的に活動されてきました。一方で、ボランティア活動として地域の子育て支援や看護師育成への協力、福山地区更生保護女性会へ加入し防犯啓発にも取り組まれています。このような幅広い活躍が認められ、今回広島県知事より表彰されました。



西本さんは受賞者代表として謝辞を述べられました

広島県国民健康保険団体連合会
総務部 保健事業課
〒730-8503
広島市中区東白島町 19-49 国保会館
TEL: 082-554-0772
FAX: 082-511-9121
Eメール: jigyuu@hiroshima-kokuho.jp
HP: <http://www.hiroshima-kokuhoren.or.jp>

会 員 募 集

広島県在宅保健福祉活動の会「陽だまりの会」では、随時、会員を募集しています。

広島県内にお住いの常勤で勤務されていない在宅専門職（看護職・栄養士職・歯科衛生士）の方で、研修会で知識などを深めたい方、地域活動をしたいとお考えの方は、事務局まで御連絡ください。

お 知 ら せ

退会を申し出られたにも関わらず本誌が届いた方は、御面倒をおかけしますが、事務局まで御連絡ください。



広島県国民健康保険
イメージキャラクター
「コピー」